

海辺の鳥たち

～豊かな房総の海に舞う～

開催期間

7月5日(土)

～9月15日(月・祝)



クロサギ



交通

JR外房線

鵜原駅から徒歩約15分
勝浦駅からタクシーで約10分
勝浦駅から小湊鉄道バス興津経由「松野」行き「吉尾入口」下車、徒歩約12分
勝浦駅から小湊鉄道バス「海中公園・海の博物館」行き終点下車(土・日・祝日のみ)

自動車

千葉市からR16(市原)、R297(大多喜)、R128(勝浦)を使って約2時間
東京湾アクアラインから圏央道、R410、R409、R297、R128を使って約1時間半
館山市からR128(鴨川)を使って約1時間半
銚子市からR126(東金)、R128(勝浦)を使って約3時間

ご利用案内

開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)
*8月は月曜日も開館します。

入館料

中学生以下 65才以上 障害者とその介護者	無料
高校生・大学生	100円
一般	200円

駐車場

午前8時30分～午後5時15分
普通車2時間まで200円

千葉県立中央博物館 分館

海の博物館

〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾123

TEL 0470-76-1133

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/>

千葉県は三方を海に囲まれており、その海岸は黒潮洗う岩礁が続く外房と、長い砂浜の九十九里浜や波静かな東京湾など変化に富んでいます。このさまざまな海の環境によって観察できる鳥も違ってきます。千葉県は海から有形無形のたくさんの恩恵を受けています。豊かな房総の海のさまざまな鳥を見てみましょう。

砂浜の鳥たち

海岸線が60kmもある広大な九十九里浜は、ミユビシギの日本で最大級の越冬地と言われているほか、夏にはコアジサシやシロチドリも繁殖しています。シギ・チドリ類やアジサシ類だけでなく、クロガモ数万羽の群れなどが冬に見られることもあり、野鳥の生息地として注目すべき場所です。



ミユビシギ

岩礁の鳥たち

クロサギやイソヒヨドリが一年中生息し、繁殖しています。冬になるとたくさんのウミウやヒメウが飛来し、崖などに集団でねぐらをとります。漁港にはコシアカツバメが営巣したり、たくさんのカモメ類が冬を越します。海鳥として一番なじみのあるのはカモメ類で、房総半島では8種がよく見られます。



ウミウ

沖の鳥たち

岸からではあまり鳥がいないように見える沖合ですが、よく見るとオオミズナギドリ(3~10月)やハシボソミズナギドリ(5~6月)がたくさん飛んでいたり、ウミスズメ類を見ることもあります。コアホウドリやクロアジアホウドリなど大型の海鳥もいます。



オオミズナギドリとアジサシ

関連行事のお知らせ

【講座】「海辺の鳥たち」 展示を見ながら、房総の海鳥について解説します。

7月5日(土) 13:30~15:30 講師:桑原和之(中央博物館上席研究員)

【観察会】「鵜原理想郷で海辺の野鳥を観察しよう」 博物館近くの鵜原理想郷で野鳥を探してみましょ。

8月24日(日) 10:00~12:00 講師:布留川毅(分館長)

* 各回定員20名。開催日2週間前までにハガキまたはファックスで海の博物館にお申し込み下さい。

応募多数の場合は抽選となります。

【体験活動】「みんなで工作 海の生きもの」 カモの模型(エコデコイ)に色塗りをし、鳥の体のつくりを学びます。

7月12日(土) 1回目 13:30~14:15 2回目 15:00~15:45

7月26日(土) 1回目 13:30~14:15 2回目 15:00~15:45

* 各回定員15名。事前申込みは不要です。当日、博物館受付でお申し込み下さい。

先着順となっておりますので、ご注意ください。